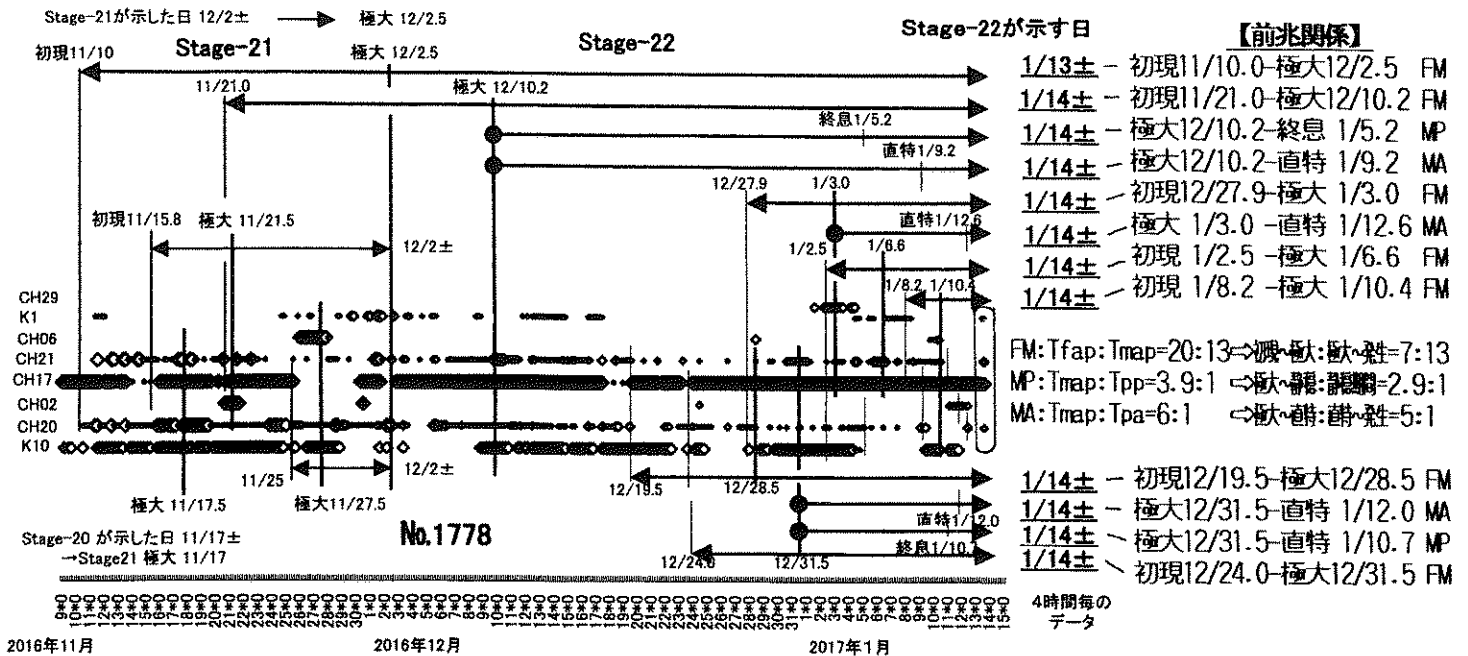


原稿校了後の前兆変化について

ハヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254  
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続前兆 続報 現況報告

01/13 本日午後から CH21・CH20・K1 特異出現開始 現在継続中



No.1778前兆第22ステージは上図の様な前兆出現状況で、上図中に記入した前兆関係認識が正しい場合、全てが1/14±を示します。第22ステージが示す日は1/14で正しい認識です。  
本日昼前迄出現前兆はCH17糸状特異のみで、これが終息するか否かを観測しておりましたが、午前10時過ぎから高知観測点K1に弱い特異が出現し、続いて昼からハヶ岳のCH21に糸状特異が出現、さらに15時半頃よりCH20に弱い特異前兆が出現しました。CH21, CH20, K1の名特異前兆は16時過ぎ現在継続中。

後半の極大認識に対する直前特異の可能性もあり得ますが、その場合、現在の前兆は明日未明迄続く可能性有。但しひとつ気になるのはCH17の糸状特異が全く終息しない点です。  
第22ステージが示す1/14に極大が出現するため、CH21, 20, K1も特異が出現した可能性も否定できません。この場合、初現認識ができません。誤差を考慮して1/16迄に対応地震が発生しない場合は、1/14±に極大出現が否かを評価し、その後の観測を続け再考予定。火山帯近傍地殻地震前兆からは、1/14±の他2/15±の可能性も計算できます。関連も引き続き検討します。

- ◆推定領域: 右図点線領域=大枠推定域  
右図太線領域内=可能性考え易い  
(岐阜県~福井県領域の可能性有)  
(石川県南部、滋賀県北部等含む)  
※=1/14±または2/15±活動開始の可能性を示す  
火山帯近傍地殻地震前兆が同一活動であった場合の参考推定。
- ◆推定規模: M7.8 ± 0.5  
(※ある程度群発的複数地震活動の可能性も有)
- ◆推定期間: 可能性① 1月14日又は15日  
(可能性①は考えにくいかもしれませんが)  
可能性② 今後の観測で推定予定
- ★1/16段階で対応地震無し前兆継続の場合はその後を観測再考
- ◇推定地震種: 震源30km以浅の陸域 日本列島の地殻地震  
◇推定発生時刻: 午前9時±1時間 又は(午後6時±3時間)

